



展葉の段階では昨年より 3 日程度早い状況です。このまま経過すれば、ふじの開花は昨年より早まる見込みです。冬季から果樹類全体に生育が早く、今後の高温次第で満開まで一気に到達する可能性があります。各園の生育状況を確認し、例年より早めの管理作業・薬剤散布に努めてください。

4 月中旬の天候不順で黒星病対策の感染拡大が心配されます。黒星病予防のため、今回から 5 月下旬までは防除間隔を 12 日程度として進めてください。尚、生育の早い本年は、例年以上に雨が続く前の予防散布を徹底してください。併せて、越冬害虫（ケムシ類他）の急激な発生も心配されます。多発する前の予防散布を徹底してください。

りんご

ふじ生育状況調査(調査地点:平岡若宮)

* 展葉時点: 前年比-3日、平年比-9日

年度	発芽	展葉	開花	満開	落花
平年	4/4	4/14	5/2	5/5	4/10
H27	3/31	4/8	4/27	4/29	5/4
H28	3/31	4/5	4/25頃	4/27頃	

～ 参考 ～

南部と北部地帯の生育差は、現状では 2～3 日程度と小さい状況です。土壌乾燥等により開花のバラツキがありますが、南部地帯で 4 月 22 日前後、平岡地帯で 4 月 25 日前後を見込んでいます

◆ 開花期の薬剤散布

散布時期は、蕾のセパレート状態（中心花と側花の蕾が離れた状態）が確認された以降から、ふじの花が 1～2 輪咲いた時が適期です。

散布時期：4/22 ～ 4/30 頃 *注意事項③、④参照

* 上記は目安となります。各園の生育状況を良く確認してから散布してください。

散布薬剤：水 100 リットル

展着剤 10 ml

オンリーワンフロアブル 50 ml (7 日前、3 回)

サムコルフロアブル 10 20 ml (前日、3 回)

対象病害虫：黒星病・黒点病・赤星病・うどんこ病・ケムシ類・ハマキムシ類・(アブラムシ類)

10 アール当り散布量：400 リットル

散布日：4 月 日

散布量： リットル

【注意事項】 *必ずお読みください。

- ① 訪花昆虫の保護のため指定薬剤以外使用しない。
- ② 収穫中の他作物等への飛散に注意する。
- ③ 黒星病等の一次感染を抑えるため、雨が続く前の予防散布を徹底する。
- ④ アブラムシ類の発生が心配される場合は、ウララ DF2,000 倍 (14 日前、2 回) を加用する。
- ⑤ 不明な点は、営農センター担当までお問い合わせください。(TEL23-3933)

◆ 落花期の薬剤散布 (5 月上旬) は裏面をご覧ください。

